

取扱説明書

みまもりカメラ

アプリのダウンロードはこちらから

iOS (iPhone)



https://s.lixil.com/camera_app_ios

Android



https://s.lixil.com/camera_app_android

本説明書について

- スマート見守りカメラを「カメラ」、別売品の無線中継器を「中継器」、専用アプリ「みまもりカメラ」を「アプリ」と表記しています。
- スマートフォンの画面イメージはAndroid™機器の例です。
- 記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 記載した情報、画面表示は2026年3月時点のものです。
内容は追加・変更になる場合があります。

もくじ

カメラについて.....	3
ルーターについて.....	5
録画データについて.....	5

準備

設定の流れについて.....	6
アプリをインストールする.....	7
アカウントを登録してログインする.....	8
パスワードを忘れたとき.....	9
アプリにカメラを追加(登録)する.....	10
複数のスマートフォンでカメラを利用する.....	11
カメラの共有設定をする.....	11
カメラの共有を解除する.....	12
カメラから通知を受ける.....	13

使いかた

アプリのトップ画面について.....	14
モニター画面について.....	16
録画の再生について.....	19

設定

カメラの設定画面について(トップ画面から).....	22
カメラの設定画面について(モニター画面から).....	23
検知設定の画面について.....	27
検知スケジュールを設定する.....	30
検知エリアを設定する.....	31
プライバシーエリアを設定する.....	32

必要なとき

microSDカード(フォルダー構成)について.....	34
困ったとき.....	35
こんなときには.....	43
商標・著作権・ライセンス.....	44

カメラについて

検知した映像は、カメラ内のmicroSDカード(市販品)に録画されます。

- 録画するには、カメラにmicroSDカード(市販品)の挿入が必要です。対応のmicroSDカードはカメラの取扱説明書の「microSDカードについて」をお読みください。

スマートフォンに専用アプリ「みまもりカメラ」をインストールして、カメラと接続設定するとカメラの映像を確認したり、人の検知や動きの検知をしたときの録画を再生することができます。

- 検知するには、P.17の④の[検知]をONにしてください。(初期値:OFF)
(microSDカードを入れるだけでは録画されません)

- 本アプリを使用するには、下図のようなネットワーク環境が必要です。

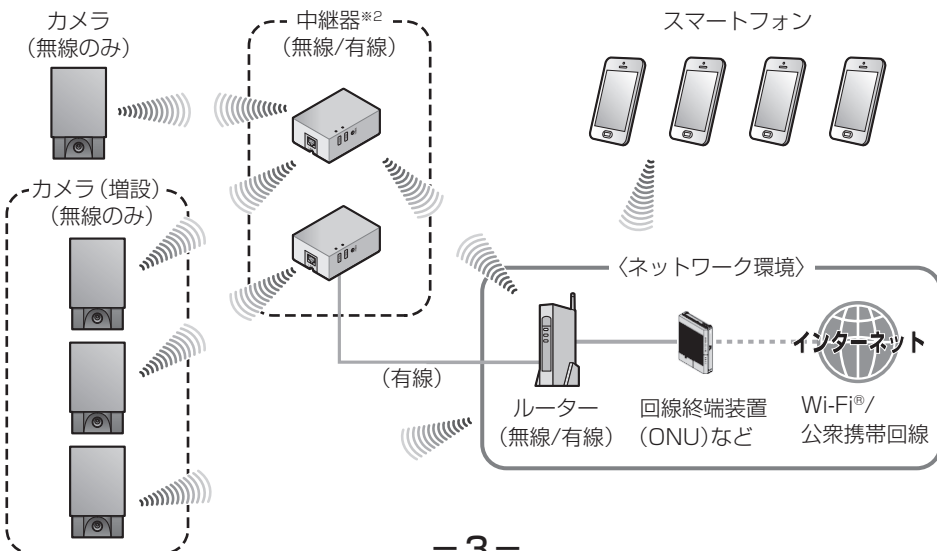
システム構成について(2026年3月時点)

〈一世帯あたりの推奨する接続台数とシステム構成〉

安定した無線通信環境をご利用いただくため、以下の接続台数を推奨しています。

- 図中のマーク：  無線LANの電波(2.4 GHz帯)

機器名	接続台数
カメラ	4台まで
スマートフォン	4台まで※ ¹ (P.11の共有設定したスマートフォン含む)
中継器	2台まで(中継器同士の接続はできません) ● 中継器1台につき、カメラ2台まで



- ※1 複数台のスマートフォンで利用する場合は、P.11を参照してください。
- ※2 ルーターとカメラは、直接接続することも、中継器を経由して接続することも可能です。設置環境に応じて最適な方法をお選びください。なお、ルーターとカメラの間に障害物があり電波が届きにくい場合は、中継器を設置することで電波状態が改善することがあります。
 - 中継器とルーターを有線で接続する場合は、市販のLANケーブル(カテゴリ5以上)をご使用ください。

お知らせ

- インターネットに接続してご使用になる場合、セキュリティに関する注意が必要です。ご利用前にカメラの取扱説明書の「使用上のお願い」の「セキュリティについて」をお読みください。

ルーターについて

インターネットに接続したルーター(市販品：グローバルIPアドレスが付与されているインターネットとUPnPに対応したもの)にカメラを接続する必要があります。

無線ルーターについて

■ カメラとの接続に使用する電波(無線LAN)の周波数帯域は「2.4 GHz」です。「5 GHz」では使用できません。

■ 本体に無線接続用のボタン(WPS、らくらく無線スタートなど)があるかをご確認ください。

● ボタンの有無で、操作方法が異なります。

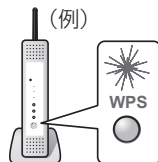
ただし、ボタンがあっても、ルーターの設定によっては使用できない場合があります。詳細は、ルーターの説明書をお読みください。

(カメラの取扱説明書の「カメラを接続する」を参照)

● ボタンがない場合、接続の際に以下のネットワーク情報を事前に調べておくことをお勧めします。

- 2.4 GHzネットワーク名(SSID)
- 暗号化キー(パスワード)

● 通信の安全性を高めるため、暗号化方式にはAESを使用する設定をお勧めします。



録画データについて

検知した映像は、カメラ内のmicroSDカード(市販品)に録画されます。録画容量がいっぱいになると、古い画像から順に自動で消去され、新しい画像が録画されます。(手動で消去する必要はありません)ただし、未確認の画像も自動で消去されるため、残しておきたい画像は次の方法で保存してください。

● スマートフォンに保存する場合

録画履歴の一覧(P.21の⑩)から、保存したい録画データをスマートフォンにダウンロードできます。保存したデータは、トップ画面の[写真一覧](P.15の⑦)で確認できます。

● パソコンに保存する場合

カメラからmicroSDカードを取り外し、保存したい録画データをパソコンにコピーしてください。(再生についてはP.34)

設定の流れについて

事前にカメラの取扱説明書の「カメラを接続する」をよく読み、下記の接続を行ってください。

- カメラとルーターを使って接続する

または

- 別売品の中継器をご使用の場合、カメラと中継器、ルーターを使って接続する

(接続したあと、LED (状態表示) が緑点灯していることを確認してください)

● 設定に関する用語について

アカウント：アプリを利用するために登録いただくメールアドレス

管理者：カメラを追加(登録)する人(P.10)

共有先：管理者からカメラの共有設定をしてもらう人(管理者の家族など)

● 下記の流れで設定を行います。

〈管理者のスマートフォン〉

- ① アカウントの登録をする
(P.7~8)



- ② アプリにカメラの追加(登録)をする(P.10)
※ カメラを登録できるのは1アカウント(1台のスマートフォン)のみ。



〈複数のスマートフォンで利用する場合〉

- ③ 管理者のスマートフォンでカメラの共有設定をする(P.11)
※ 複数のアカウント(スマートフォン)でカメラを利用する場合には、この設定が必要です。

〈共有先のスマートフォン〉

- ① アカウントの登録をする
(P.7~8)

※ アプリを利用するすべてのスマートフォンで行ってください。



※ 管理者のスマートフォンでカメラの共有設定が完了したあと、カメラを利用できます。(P.11)

- 同じカメラを同時にモニターできるスマートフォンは、1台までです。

アプリをインストールする

対応しているスマートフォンについて

(2026年3月時点)

- iPhone (iOS 16.0以降)
- Android™スマートフォン(Android 12.0以降)

アプリをインストールする

- 1 アプリのダウンロードサイトで「みまもりカメラ」アプリを検索してインストールする
または
表紙のQRコードを読み取って「みまもりカメラ」アプリをインストールする



お知らせ

- 「みまもりカメラ」の利用にはメールアドレスの登録が必要です。
- 「みまもりカメラ」は株式会社LIXILが提供するアプリです。本アプリの利用にあたっては、株式会社LIXILが定める使用許諾契約に同意する必要があります。
- ご使用のスマートフォン(機種やOS、接続されている周辺機器やインストールされているアプリなどの動作環境)によっては、アプリが正常に動作しない場合があります。
- アプリや、カメラ・中継器のファームウェアは、機能追加や改善を行っています。アップデートをして最新バージョンでのご利用をお勧めします。スマートフォンにアップデートのお知らせが届いた場合、画面の表示に従って操作をしてください。
(カメラ・中継器のファームウェアのアップデートについては、P.23、25)

【利用規約(サービス契約)】および【プライバシーポリシー】について

上記は、アプリ内に掲載しています。

アプリのトップ画面の[アプリ設定](P.15の⑥)をタップすると確認できます。

アカウントを登録してログインする

アカウントの登録には、メールアドレスが必要です。

- フリーメールまたはPCメールアドレスなどの利用をお勧めします。
携帯電話の通信事業者が提供するメールアドレスの場合、次のようなときにアカウント登録ができません。
 - 迷惑メール対策などでシステム側からのメールが受信できないとき。
 - SMS（ショートメッセージサービス）でメール受信する設定にしているとき。（認証コードが正しく表示されません）

1 アプリを起動する

2 アプリに関するお知らせを確認して、アプリを利用するために「プライバシーポリシー」と「利用規約」をよく読み、[同意する]をタップする（同意しないとアプリを利用できません）

- その他、許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。

3 アカウントを登録する

- ① 画面下部の[新規登録]をタップし、メールアドレスとパスワードを入力する
- ② [登録する]をタップする
- ③ 登録したメールアドレスに、システムから「認証コード」が送信される※¹
- ④ 認証コード画面で上記③の「認証コード」を入力し、[認証する]をタップする
- ⑤ 「登録に成功」の表示がでたら、[ログイン画面へ]をタップする

4 ログイン画面で登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[ログイン]をタップする

- アプリのトップ画面が表示されます。

※¹ 認証コードが届かない場合は、迷惑メールフォルダーをご確認ください。
（迷惑メール対策で、迷惑メールフォルダーに入ることがあります）

パスワードを忘れたとき

下記の手順でパスワードを再設定してください。

- 1 アプリを起動する
- 2 ログイン画面から[パスワードを忘れた]をタップして、パスワードの再設定をする
 - ① 登録済みのメールアドレスを入力する
 - ② [認証コードを送信する]をタップする
 - ③ 登録したメールアドレスに、システムから「認証コード」が送信される
 - ④ [パスワードをリセット]画面で上記③の「認証コード」を入力し、
[認証する]をタップする
 - ⑤ 新しいパスワードを入力する
 - ⑥ [再設定する]をタップする
 - ⑦ 「パスワード再設定できました」の表示がでたら、[ログイン画面へ]を
タップする
- 3 ログイン画面でメールアドレスと再設定したパスワードを入力し、
[ログイン]をタップする
 - アプリのトップ画面が表示されます。

アカウントの削除をするには

登録しているすべてのカメラを削除したあとに(P.22の③)、アプリのトップ画面の[アプリ設定](P.15の⑥)からアカウントの削除を行ってください。

アプリにカメラを追加(登録)する

事前にカメラとルーターなどを接続したあと、カメラおよび中継器のLED(状態表示)が緑点灯していることを確認してください。(接続の詳細は、P.6とカメラの取扱説明書の「カメラを接続する」を参照)

〈複数のスマートフォンを使う場合〉

- カメラおよび中継器を登録操作ができるスマートフォンは1台のみです。
- 複数のスマートフォンでカメラ映像などを見るには、管理者となる人のスマートフォンでカメラを登録し、登録完了後にカメラの共有設定(P.11)を行ってください。

〈アプリ画面〉



〈トップ画面〉



- ① アプリ画面で、[+カメラを追加する] をタップする
 - 2台目以降のカメラや増設の中継器を登録するとき、トップ画面で [カメラを追加] をタップする
- ② 画面の表示に従って操作する
 - 上記操作を行ったあと、QRコードの読み取り画面が表示されます。
 - カメラの使用に関する許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。
- 2 カメラの取扱説明書(表紙)の「スマートフォン登録用のQRコード」を読み取る
(フロントカバーを取り外したカメラ本体のQRコードと同じです)
- 3 「カメラの追加」画面で [カメラ名] をタップして任意のカメラ名を入力し、[保存する] をタップする
 - カメラの追加が完了すると、画面に「カメラの追加に成功」のメッセージを表示します。
 - アプリのトップ画面に、追加されたカメラ名が表示されます。
 - 複数のカメラを登録する場合は、手順1～3を繰り返し行ってください。

複数のスマートフォンでカメラを利用する

管理者のスマートフォン(P.10でカメラを登録した人)から、カメラの共有先(家族などのスマートフォン)を設定できます。

カメラの共有設定をする

〈管理者のスマートフォンの操作〉

- 1 アプリのトップ画面で、共有設定するカメラの[メニュー]をタップする
- 2 [カメラを共有]をタップする
- 3 「カメラを共有」の[共有アカウントを追加する]をタップする
 - 「共有先の追加」画面が表示されます。
- 4 追加する相手のアカウント(メールアドレス)を入力して[共有]をタップする
 - 共有先のアカウント欄にメールアドレスが表示されます。
 - 追加で共有する場合、手順3～4を繰り返してください。
(共有台数は、カメラの取扱説明書の「仕様」の「スマートフォン接続台数」を参照)
- 5 複数のカメラを共有するときは、手順1から繰り返す
- 6 アプリを再起動する

〈共有先のスマートフォンの操作〉

- 7 アプリを再起動する※1
- 8 アプリのトップ画面で、共有されたカメラ名が表示されることを確認する
- 9 共有されたカメラの画面※2をタップし、カメラ映像が表示されることを確認する
 - 同じカメラを同時にモニターできるスマートフォンは、1台までです。

※1 再起動してもカメラが共有されない場合は、下記を行ってください。

- ① アプリのトップ画面で[アプリ設定]をタップし、[ログアウト]をタップする
- ② メッセージを確認し、[はい]をタップする
- ③ ログイン画面で再ログインする

※2 トップ画面は、最後にモニターしたときの画像が表示されます。(初回で利用時は、まだ保存データがないため黒い画面が表示されます)

カメラの共有を解除する

下記のどちらかの操作でカメラの共有を解除できます。

■ 管理者のスマートフォンで解除する場合

〈管理者のスマートフォンの操作〉

- 1 アプリのトップ画面で、解除するカメラの[メニュー]をタップして、[カメラを共有]をタップする
- 2 共有を解除するアカウントをタップし、メッセージを確認して[解除]をタップする
- 3 アプリを再起動する

〈共有先のスマートフォンの操作〉

- 4 アプリを再起動する※1

- 共有先のスマートフォンでカメラの共有が解除されます。

■ 共有先のスマートフォンで解除する場合

〈共有先のスマートフォンの操作〉

- 1 アプリのトップ画面で、解除するカメラの[メニュー]をタップして、[共有を解除]をタップする
- 2 メッセージを確認して[はい]をタップする

〈管理者のスマートフォンの操作〉

- 3 アプリを再起動する※1

- 管理者のスマートフォンでカメラの共有が解除されます。

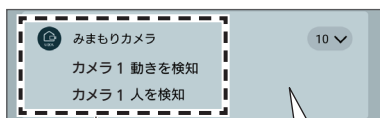
※1 再起動してもカメラの共有が解除されない場合は、下記を行ってください。

- ① アプリのトップ画面で[アプリ設定]をタップし、[ログアウト]をタップする
- ② メッセージを確認し、[はい]をタップする
- ③ ログイン画面で再ログインする

カメラから通知を受ける

カメラで検知した場合、P.28の「検知時の動作設定」のPush通知の設定に従ってスマートフォンに通知が届きます。

- 通知音と音量はスマートフォンの設定に従います。
- 検知時の録画は、[録画履歴]から確認してください。(P.19)



カメラ名
通知内容

タップすると、検知したカメラのモニター画面に遷移します。

■ 検知と通知について

次のことを確認してください。

- 検知をするには、P.17の④ [検知] をONにしてください。(初期値：OFF)
(P.28の[人の検知]と[動きの検知]の両方がOFFの場合は、検知しません)
- 通知を受け取りたい項目の設定を確認してください。※1
(「人検知をPush通知する」および「動き検知をPush通知する」は、ともに初期値がONです)
- 検知スケジュール機能(P.30)がONの場合、「検知しない(OFF)」を選択した時間帯には録画や通知は行われません。

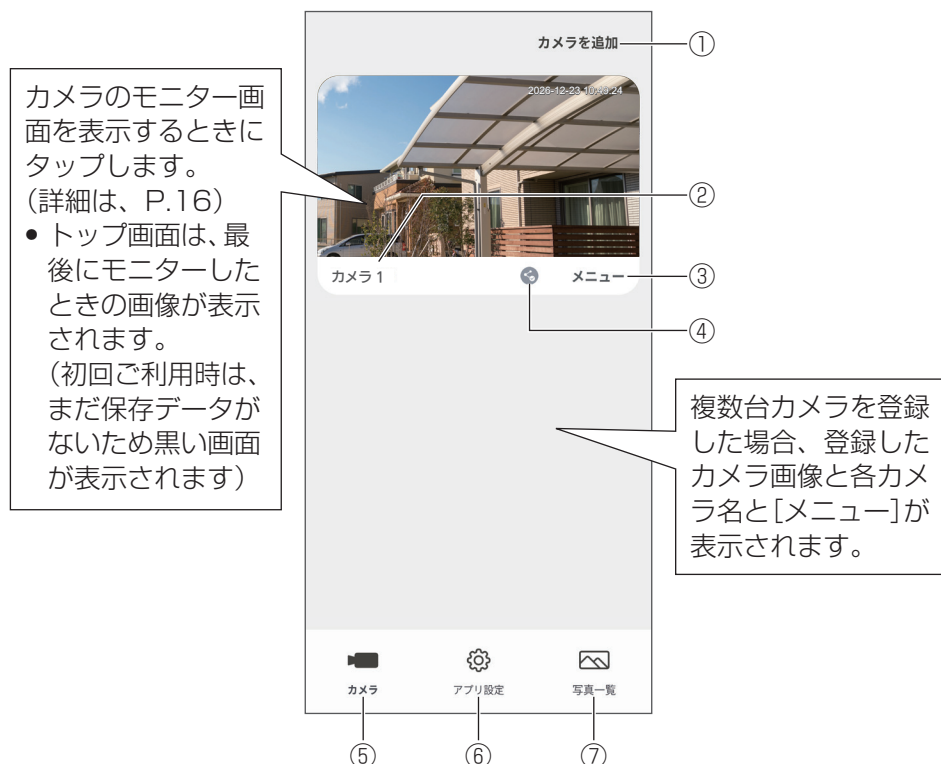
※1 検知条件の[動きの検知](初期値：OFF)と[動き検知をPush通知する]がONの場合

- 動きの検知は、あらゆる動きや明るさの変化などが検知の対象となるため、通知が多くなります。また、夜間は雨や雪なども検知するため、通知が連続して届くことがあります。
- [動きの検知]と[人の検知]の両方がONの場合、人の動きを検知したときに「動きの検知」と「人の検知」の2つの通知が届きます。
→ 通知が多くて気になる場合は、検知条件の[動きの検知]をOFFにしてください。(P.28)
(詳細は、「困ったとき」のP.36の「動きの検知と人の検知の動作」をお読みください)

■ 検知の通知以外の通知について

カメラ本体の状態(microSDカードのエラー、未挿入、取り外し、高温による動作中断など)をお知らせするために、通知が届くことがあります。

アプリのトップ画面について



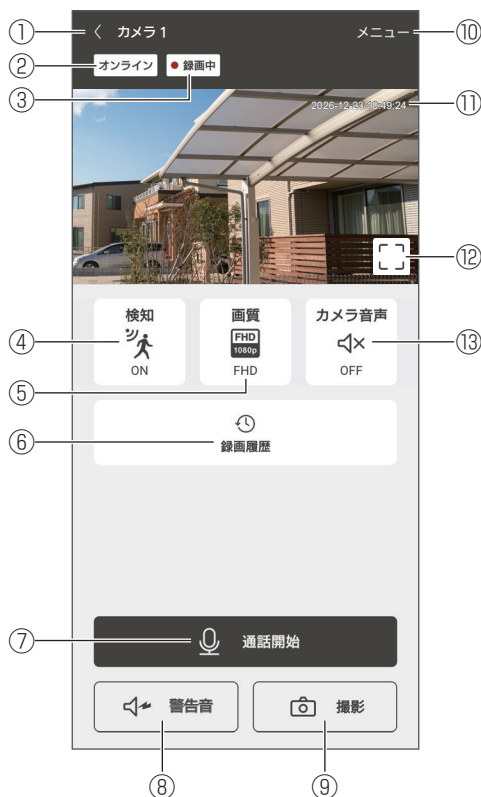
No.	アイコン/表示	働き
①	カメラを追加	カメラおよび中継器追加(登録)の操作案内を表示します。
②	—	カメラ名を表示します。
③	メニュー	カメラの設定画面「設定」を表示します。 (詳細は、P.22)

No.	アイコン/表示	働き
④		共有されたカメラの場合に表示します。
⑤	 カメラ	トップ画面を表示している状態です。
	 カメラ	アプリ設定画面からトップ画面へ切り替えます。
⑥	 アプリ設定	下記の表示をします。 [このアプリについて]・[取扱説明書]・ [利用規約]・[プライバシーポリシー]・ [オープンソースソフトウェア]・ [アカウントの削除]・[ログアウト]
⑦	 写真一覧	スマートフォン内に保存された下記のデータを確認できます。 • ダウンロードした録画データ (P.21の⑫) • 撮影したスクリーンショット (P.18の⑨)

モニター画面について

トップ画面(P.14)の画像をタップすると下記のモニター画面に切り替わり、現在のカメラ側の映像・音声を確認することができます。

● 検知機能のON/OFF切替、カメラ側の相手に警告音を鳴らす機能、録画履歴画面への切替などの各種操作もできます。



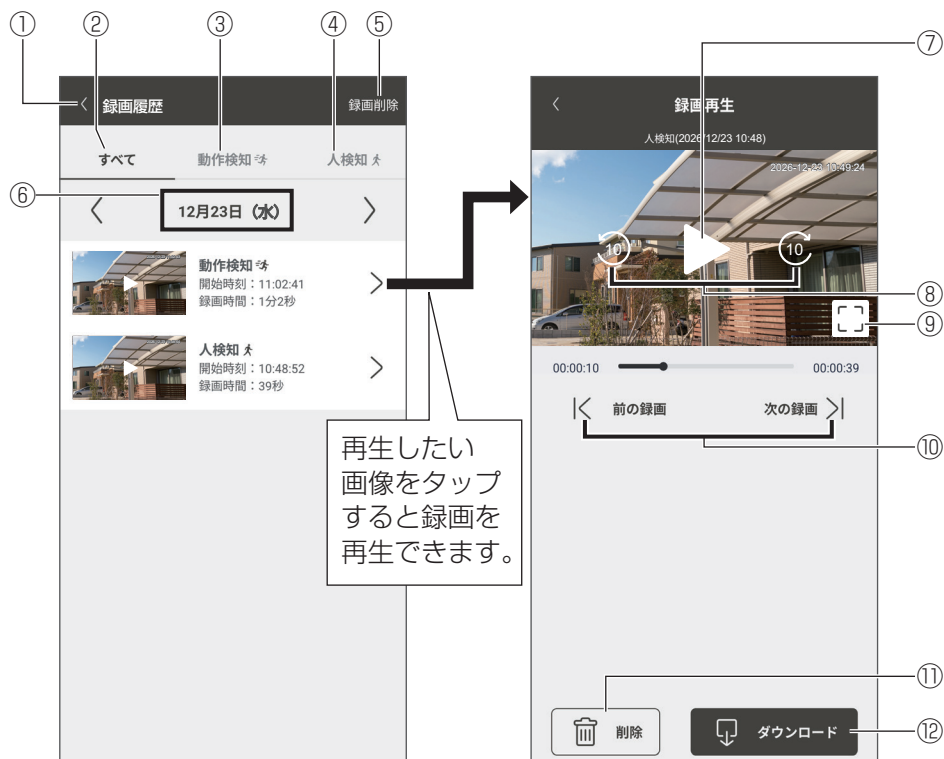
No.	アイコン/表示	働き
①		トップ画面に戻ります。
②		カメラの接続状態を表示します。 オンライン：接続中 オフライン：未接続

No.	アイコン/表示	働き
③		録画中に表示されます。 ● カメラに録画用のmicroSDカードが挿入されていない場合、SDカードがありませんが表示されます。 ● 録画するには、microSDカード(市販品)の挿入が必要です。対応のmicroSDカードはカメラの取扱説明書の「microSDカードについて」をお読みください。
④	検知 	検知エリア内で、検知する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：OFF ● この設定は、P.27の①「検知設定」と連動します。 ● (使用例) カメラ周辺で洗車などの作業を行うとき、カメラの検知が不要な場合、一時的に[検知]をOFFに設定できます。
	検知 	
⑤	画質 FHD	解像度(FHD・HD)のうち、選択されている設定値を表示します。 ● この解像度(FHDまたはHD)をタップすると解像度を変更できます。
	画質 HD	
⑥	 録画履歴	録画履歴の一覧を表示します。(詳細は、P.19)
⑦		カメラ側の相手に話しかけたり、会話したりできます。 ● 送話と受話を交互に切り替える通話方式です。 〈カメラ側に話しかけるとき〉 1) [通話開始]をタップして、話しかける ● マイクの使用に関する許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。 ● 通話を開始すると、P.18の⑬カメラ音声の設定がOFFになります。 2) 送話をやめるには[通話終了]をタップする

No.	アイコン/表示	働き
⑧	 警告音	カメラ側の相手に警告音を鳴らすことができます。 1) [警告音]をタップする ● [警告音再生中]の表示をします。 ● 警告音の種類を変更するには、P.24の④ ● 警告音の音量を変更するには、P.24の⑤
⑨	 撮影	スクリーンショットを撮影できます。 ● 音楽と音声へおよび、写真と動画への使用に関する許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。 ● 撮影したあと、[表示する]をタップすると保存した画像データを確認できます。 ● 保存した録画データは、トップ画面の[写真一覧]で確認できます。(P.15の⑦)
⑩	メニュー	カメラの設定画面「カメラ設定」を表示します。 (詳細は、P.23～29)
⑪	—	日時を表示します。(日時は変更できません) ● 表示されている日時は、録画ファイルやスクリーンショットにも記録されるため、撮影時刻を確認できます。
⑫		● スマートフォンの自動回転機能がONの場合、スマートフォンの向きを変えると縦横が切り替わります。 ● スマートフォンの自動回転機能がOFFでも、下記のボタンを押すことで画面の向きを切り替えることができます。 1) 横画面に切り替えるには、をタップする 2) 縦画面に切り替えるには、をタップする
		
⑬	カメラ音声  OFF	〈カメラ側の音声を聞くととき〉 1) 音声を聞くには、[カメラ音声]をタップしてONにする 2) 受話をやめるには、[カメラ音声]をタップしてOFFにする ● P.17の⑦で通話を開始すると、カメラ音声の設定がOFFになります。
	カメラ音声  ON	

録画の再生について

モニター画面(P.16)で[録画履歴]をタップすると録画履歴の一覧が表示されます。一覧から録画を再生できます。表示内容を「動作検知」のみ、または「人検知」のみに絞ったりすることもできます。



No.	アイコン/表示	働き
①		モニター画面に戻ります。
②	すべて	すべての録画の履歴を表示します。
③	動作検知	動きの検知のみを表示します。
④	人検知	人の検知のみを表示します。

No.	アイコン/表示	働き
⑤		〈削除するには〉 1) [録画削除] をタップする 2) 削除したい録画データをチェックする ● チェックマークが付きます。 3) [削除する] をタップする 4) 削除の確認画面で [はい] をタップする ● チェックマークした録画データが削除されます。
⑥	(例) 	今日の日付を表示します。 〈1日ずつ日付を切り替えるには〉 日付表示の左右の [<] [>] をタップすると、前日/翌日の録画履歴の一覧が表示されます。 〈カレンダーから任意の日付に切り替えたい場合〉 カレンダーで任意の日付を指定すると、その日付の録画履歴の一覧が表示されます。 1) 日付(曜日)の部分の部分をタップする ● カレンダーが表示されます。 ● 月を切り替えるには [<] [>] をタップしてください。 2) 確認したい日付を選択する 3) [確定する] をタップする ● 選択した日付の録画履歴が表示されます。
⑦		再生中にタップすると一時停止します。 ● 再生を再開するには、再度タップしてください。
		
⑧		録画を約10秒ずつ早戻し/早送りします。
⑨		● スマートフォンの自動回転機能がONの場合、スマートフォンの向きを変えると縦横が切り替わります。 ● スマートフォンの自動回転機能がOFFでも、下記のボタンを押すことで画面の向きを切り替えることができます。 1) 横画面に切り替えるには、 をタップする 2) 縦画面に切り替えるには、 をタップする
		

No.	アイコン/表示	働き
⑩	 前の録画 次の録画 	前の録画/次の録画に切り替わります。
⑪	 削除	表示されている録画データを削除します。(削除の確認画面で[はい]をタップしてください)
⑫	 ダウンロード	録画データをスマートフォン内にダウンロード(保存)できます。 ● ダウンロード中に録画再生画面から他の画面に移動すると、ダウンロードは中断されます。 ● 保存した録画データは、トップ画面の[写真一覧]で確認できます。(P.15の⑦)

カメラの設定画面について(トップ画面から)

トップ画面(P.14)で[メニュー]をタップするとカメラの設定画面が表示されます。

- 複数のスマートフォンを使う場合、管理者と共有先のスマートフォンでは設定できる内容が異なります。
- カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。

■ カメラを追加したスマートフォンの場合(管理者)



No.	働き
①	カメラ名の変更ができます。 ● 任意のカメラ名を入力し、[保存する]をタップしてください。
②	カメラの共有先の設定(P.11)や、共有の解除(P.12)ができます。
③	カメラの削除を行います。 ● ご利用のアカウントに登録されているカメラをアプリから削除します。

■ カメラを共有設定されたスマートフォンの場合(共有先)

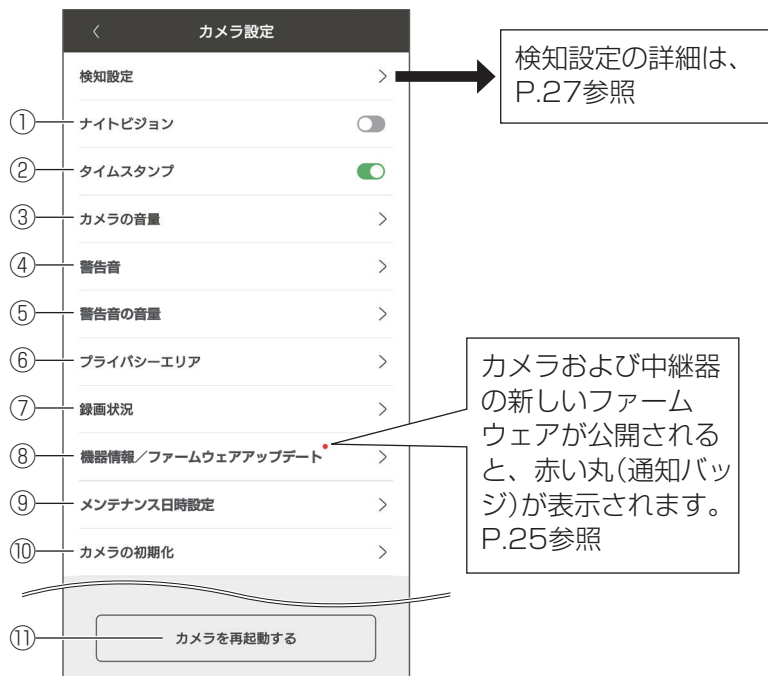


No.	働き
①	カメラ名の変更ができます。 ● 任意のカメラ名を入力し、[保存する]をタップしてください。
②	カメラの共有を解除できます。(P.12)

カメラの設定画面について(モニター画面から)

モニター画面(P.16)で[メニュー]をタップするとカメラ設定の画面が表示されます。

● カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。



No.	設定名	働き
①	ナイトビジョン	夜間(暗いとき)の撮影モードをON(白黒撮影)またはOFF(カラーモード撮影)に切り替えます。(周囲の明るさによって赤外線LEDが点灯しない場合があります) ● ON(白黒撮影)：周囲が暗いときに、赤外線LEDが点灯し、白黒で撮影します。暗闇でも被写体が見えやすくなりますが、色の判別はできません。 ● OFF(カラーモード撮影)：周囲が暗くてもカラーで撮影でき、色の違いを確認しやすくなります。ただし、赤外線LEDは点灯しないため、周囲が非常に暗いと映像が不鮮明になったり、被写体を検知できないことがあります。 初期値：ON(白黒撮影)

No.	設定名	働き
②	タイムスタンプ	カメラ映像に日時を表示する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 ● ON: カメラ映像に日時が表示され、録画データにも記録されます。 ● OFF: カメラ映像に日時の表示がされず、録画データにも記録されません。 初期値: ON ● 日時は、ネットワーク接続時に日本標準時(JST)へ自動的に設定されます。(手動変更はできません)
③	カメラの音量	カメラ側の音量(通話音声・検知音)を調整できます。(小・中・大) 初期値: 中 ● 音量を大きくすると、音がひずんだり、ノイズが混じることがありますが、故障ではありません。
④	警告音	モニター中に手動操作で、カメラ側に鳴らす警告音の種類を設定します。(警告音1～4と警告音5:アナウンス)^{※1} 初期値: 警告音1
⑤	警告音の音量	カメラ側の警告音の音量を調整します。(小・中・大) 初期値: 中 ● 音量を大きくすると、音がひずんだり、ノイズが混じることがありますが、故障ではありません。
⑥	プライバシーエリア	撮影範囲内に、隣家などプライバシー配慮が必要なエリアが映り込む場合、トラブル防止のためにそのエリアを映さないように設定することができます。 初期値: 選択なし 詳細は、P.32
⑦	録画状況	録画状況(SDカード)を表示します。 ● microSDカードの総容量と使用状況などを表示します。 ● [SDカードのフォーマット] フォーマットをすると、microSDカードに記録された情報が全消去されます。

※1 警告音(警告音1～3): ©2025 Yoshida Toru

No.	設定名	働き
⑧	機器情報／ ファームウェア アップデート	■ カメラの機器情報を表示します。 ● カメラ名/MACアドレス/IPアドレス ■ カメラの電波強度 ● 弱(5～46)、中(49～79)、強(80～100)が表示されます。 弱の場合は、中継器の設置をお勧めします。 中継器を設置している場合は、表示される数値が「中/強」になることを目安に中継器をカメラに近づけるなど電波改善をお勧めします。 ■ カメラの現在のバージョンを表示します。 ● 新しいファームウェアが公開された場合、アプリに通知され、[アップデートあり]が表示されます。 ● [アップデートあり]をタップして、画面の表示に従ってファームウェアの更新を行ってください。 カメラのバージョン アップデートあり XXX ■ 「カメラログの保存」でログデータをmicroSDカードに保存する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。(保存する(ON)を選択した場合は、確認画面が表示されます。保存にご協力いただける場合は[はい]をタップしてください) 〈中継器を接続時のみ表示〉 ■ 中継器の機器情報を表示します。 ● MACアドレス/IPアドレス ■ 中継器の電波強度 ● 弱(5～46)、中(49～79)、強(80～100)が表示されます。 弱の場合は、LANケーブルで有線接続するか、表示される数値が「中/強」になることを目安に中継器を無線ルーターに近づけるなど電波改善をお勧めします。 ■ 中継器の現在のバージョンを表示します。 ● 新しいファームウェアが公開された場合、アプリに通知され、[アップデートあり]が表示されます。 ● [アップデートあり]をタップして、画面の表示に従ってファームウェアの更新を行ってください。 中継器のバージョン アップデートあり XXX

No.	設定名	働き
⑨	メンテナンス日時設定	正常な環境でお使いいただけるように月に一度、メンテナンスを実施します。 初期値：第1月曜日の00：00～01：00 (メンテナンス中は、1～2分程度カメラがご使用になれません) 〈メンテナンス時間を変更するには〉 1) メンテナンスを実施する週/曜日/時間帯を選択する 2) [保存する]をタップする
⑩	カメラの初期化	■ カメラ設定の初期化 カメラの設定内容のみ初期化します。 下記の内容は初期化しません。 ● ネットワーク設定情報 ● アカウント情報 ■ ネットワーク設定の初期化 無線接続用のボタン(WPS、らくらく無線スタートなど)なしのルーターに変更時に使用します。 カメラの接続先(ルーターや中継器)の情報を初期化します。 ● 変更前にアプリで初期化できなかったときは、カメラ本体の初期化ボタンを押してください。(P.43)
⑪	カメラを再起動する	動作がおかしいときに、カメラを再起動できます。 ● 中継器が接続している場合、中継器も同時に再起動します。 ● カメラの設定内容およびカメラや中継器の登録状態は解除されません。

検知設定の画面について

モニター画面(P.16)から[メニュー]→[検知設定]をタップすると検知設定の画面が表示されます。

● カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。

〈検知設定がOFFの場合〉



〈検知設定がONの場合〉



No.	設定名	働き
①	検知設定	検知エリア内で、検知する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：OFF ● この設定は、P.17の④[検知]と連動します。 ● 詳細設定(②～⑬)を変更せずに、検知を一時的に停止することができます。検知を一時的に止めたい場合に便利です。

No.	設定名	働き
②	人の検知	検知エリア内(初期値：撮影範囲全体)で、人の検知をする(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：ON
③	動きの検知	検知エリア内(初期値：撮影範囲全体)で、動きの検知をする(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：OFF
④	検知スケジュール	検知スケジュール機能を使用する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：OFF カメラで検知する(ON)か検知しない(OFF)の曜日と時間帯のスケジュールを設定します。 初期値：曜日と時間帯の設定なし ● 検知しない(OFF)に設定すると録画もされません。 詳細は、P.30
検知時の動作設定		
⑤	録画する	検知エリア内で、検知したときに録画する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。 初期値：ON ● 録画が不要な場合、またはmicroSDカードが故障中の場合はOFFにしてください。
⑥	検知音を出力する	検知時にカメラから検知音を鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。 初期値：ON ● 検知音の音量が設置場所周辺で騒音とみなされる場合は、カメラの音量(P.24の③)を調整する、またはOFFにしてください。
⑦	人検知をPush通知する	検知時に人の検知の通知を受ける(ON)か受けない(OFF)かを設定できます。 初期値：ON 詳細は、P.13
⑧	動き検知をPush通知する	検知時に動きの検知の通知を受ける(ON)か受けない(OFF)かを設定できます。 初期値：ON 詳細は、P.13

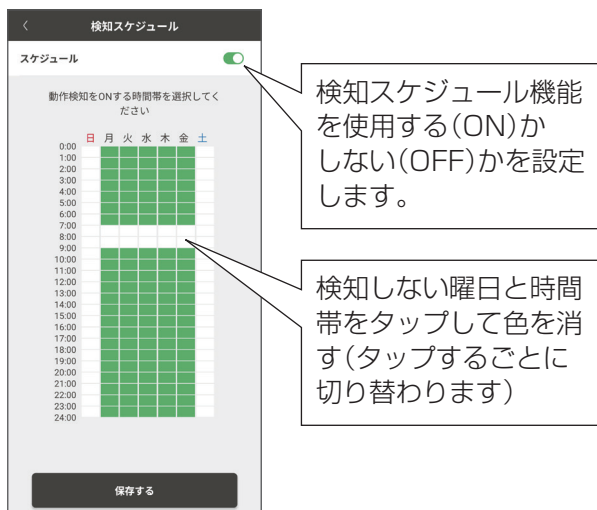
No.	設定名	働き
詳細設定		
⑨	人検知範囲の表示	人の検知をした箇所に、四角枠(水色)を表示する(ON)かしない(OFF)かを設定します。 ONにすると録画データにも四角枠が表示されます。 初期値：OFF
⑩	動き検知範囲の表示	動きの検知をした箇所に、四角枠(ピンク色)を表示する(ON)かしない(OFF)かを設定します。 ONにすると録画データにも四角枠が表示されます。 初期値：OFF
⑪	検知音の選択	カメラ側で鳴る検知音の種類を設定します。(検知音1～4と検知音5：アナウンス) ^{※1} 初期値：検知音1
⑫	検知エリア設定	検知するエリア(撮影範囲)を設定します。 初期値：撮影範囲全体 詳細は、P.31
⑬	検知感度設定	検知感度を設定します。 [低]、[中]、[高]、[最高] 初期値：高 ● 人の検知/動きの検知の感度を変更できます。 (両方に同じ感度が反映されます)人または動いているものが映っていないのに、頻繁に検知する場合は、感度を下げてください。

※ 1 検知音 (検知音 1～3) : ©2025 Yoshida Toru

検知スケジュールを設定する

検知スケジュール機能を使用する(ON)かしない(OFF)かを設定します。
カメラで検知する(ON)か検知しない(OFF)の曜日と時間帯のスケジュールを設定します。

- 検知しない(OFF)に設定すると録画もされません。
- カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。
- 検知設定がONの場合のみ、検知スケジュールを設定できます。



■ 検知スケジュールを設定する

- 1 アプリのモニター画面 (P.16) から [メニュー] → [検知設定] → [検知スケジュール] をタップする→スケジュールを使用する (ON) にする
 - 現在の検知スケジュールの画面が表示されます。
- 2 スケジュール画面で、検知する (ON) か検知しない (OFF) かをタップする
 - タップ操作で曜日と時間帯を切り替えます。
検知する (ON) : 
検知しない (OFF) : 
- 3 終わったら、[保存する] をタップする

■ 検知スケジュール機能をON/OFFする

- 1 アプリのモニター画面 (P.16) から [メニュー] → [検知設定] → [検知スケジュール] をタップする
- 2 設定された検知スケジュールを使用する (ON) か、しない (OFF) かを設定する
- 3 終わったら、[保存する] をタップする

検知エリアを設定する

検知するエリア(撮影範囲)を設定します。(初期値：撮影範囲全体)

- 検知エリアの設定画面で検知させたくない場所(非検知エリア)を選択してください。
- 不要な録画が多い場合は、非検知エリアを設定して録画対象を絞り込んでください。
- カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。
- 検知設定がONの場合のみ、検知エリアを設定できます。

〈カメラの撮影範囲のイメージ〉

検知させたくない場所をタップする(タップするごとに切り替わります)

検知する ☐ 検知しない ☒

グリッド 大 画面 横画面 縦画面

保存する

(例) 車や人通りの多いエリア

- スマートフォンの自動回転機能がONの場合、スマートフォンの向きを変えると縦横が切り替わります。
- スマートフォンの自動回転機能がOFFでも、下記のボタンを押すことで画面の向きを切り替えることができます。
1) 横画面に切り替えるには、 をタップする
2) 縦画面に切り替えるには、 をタップする

- 1 アプリのモニター画面(P.16)から[メニュー]→[検知設定]→[検知エリア設定]をタップする
 - 検知範囲設定の画面が表示され、現在のカメラ映像が映ります。
- 2 検知させたくない場所(非検知エリア)を選択する
 - グリッドのタップ操作やドラッグ操作で切り替えます。
検知しない(OFF) :
検知する(ON) :
- 3 終わったら、[保存する]をタップする

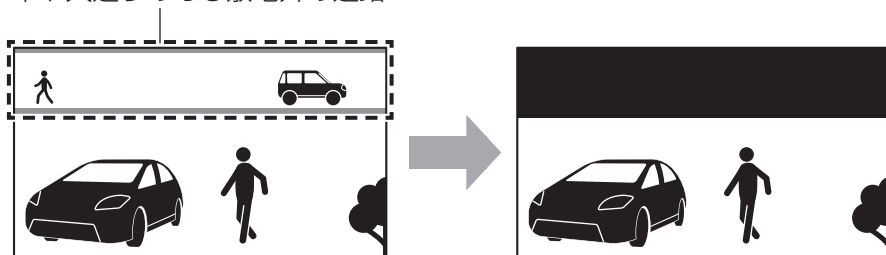
プライバシーエリアを設定する

撮影範囲内に、隣家の敷地などプライバシー配慮の観点から撮影を控えるべきエリアが入る場合は、そのエリアの映像を映さない(検知もしない)ように設定することができます。

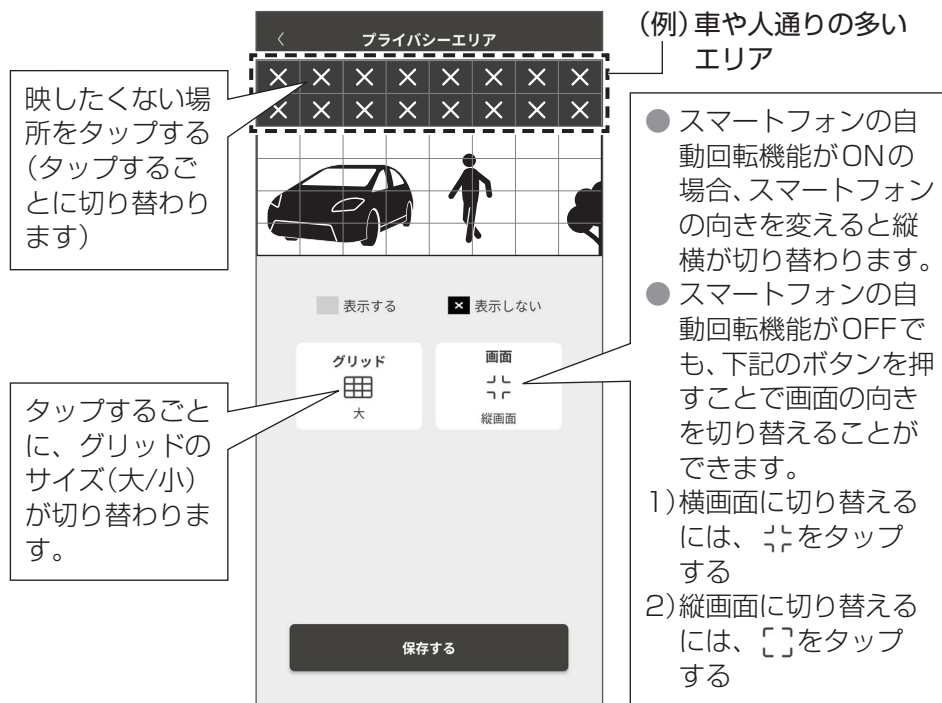
- ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などをご考慮ください。
- 設定したエリアは撮影映像や録画画像で黒塗りにになります。
- カメラが複数台ある場合、設定はカメラごとに行います。

(例)敷地外の道路をプライバシーエリアに設定したときの撮影イメージ

車や人通りのある敷地外の道路



(次ページにつづく)



1 アプリのモニター画面(P.16)から[メニュー]→[プライバシーエリア]をタップする

- プライバシーエリア設定の画面が表示され、現在のカメラ映像が映ります。

2 映像を映したくない場所(プライバシーエリア)を選択する

- グリッドのタップ操作やドラッグ操作で切り替えます。

表示しない(OFF) : ☒

表示する(ON) : ☐

3 終わったら、[保存する]をタップする

microSDカード(フォルダー構成)について

- 対応のmicroSDカードはカメラの取扱説明書の「microSDカードについて」をお読みください。

録画データについて

詳細は、P.5をお読みください。

データをパソコンで再生する

microSDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。(microSDカードの取り外し方は、カメラの取扱説明書をお読みください)

- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。

microSDカードの録画データのフォルダー構成

■ フォルダー構造について

microSDカードへ録画をする際は、下記のフォルダーが自動的に作成されます。

/ (DeviceID) / (YYYY) / (MM) / (DD) / (HH)

- (DeviceID) : カメラごとの機器ID
- (YYYY) : 録画した年
- (MM) : 録画した月
- (DD) : 録画した日
- (HH) : 録画した時

■ ファイル名について

(例1) 20260923102421_30_hum.mp4

- 20260923102421 : 録画開始時間のタイムスタンプ
(2026年09月23日10時24分21秒から開始)
- 30 : 録画時間(秒)
- hum : 人の検知の録画

(例2) 20261201232402_90_mov.mp4

- 20261201232402 : 録画開始時間のタイムスタンプ
(2026年12月01日23時24分02秒から開始)
- 90 : 録画時間(秒)
- mov : 動きの検知の録画



お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本アプリで再生できなくなります。

困ったとき

カメラの機能設定などを変更することで改善できる場合があります。

録画について

録画されていない

- カメラにmicroSDカードが挿入されていますか？
 - ➔ 録画するには、microSDカード（市販品）の挿入が必要です。対応のmicroSDカードはカメラの取扱説明書の「microSDカードについて」をお読みください。
- 検知の設定や[録画する]の設定がOFFになっていませんか？
 - ➔ [検知]がOFFの場合は、ONにしてください。（P.17の④）
 - [録画する]がOFFの場合は、ONにしてください。（P.28の⑤）
- 検知スケジュールが検知しない時間帯の設定になっていませんか？
 - ➔ 検知スケジュールの時間帯を確認してください。（P.30）
- [人の検知]と[動きの検知]の両方がOFFになっていませんか？
 - ➔ 録画履歴に残したい検知の項目をONにしてください。（P.28）
- カメラの電源を入れ直したあとは、約5分間検知ができなくなります。
 - microSDカードを挿入後は、しばらく録画ができないことがあります。（時間はmicroSDカードのサイズや使用量によって異なります）

日時設定

録画データの日時が正しくない

- 次のような場合、日時はリセットされ、録画データの日時がずれることがあります。
 - 停電などで電源が切断されたとき
 - カメラの電源を切断したとき
- ➔ 電源復帰後にカメラが外部のネットワークと接続したときに時刻が反映されます。（日時がずれた録画データは、補正されません）

動きの検知と人の検知の動作

動きの検知が頻繁に反応する

- ・ 車が通るたびに反応する
- ・ 照明のON/OFFに反応する
- ・ 雨や雪に反応する

- 動きの検知の場合は、検知エリア（初期値：撮影範囲全体）のすべての動きや明るさの変化を検知して反応するため、検知したい被写体以外にも反応します。
 - 検知範囲に車が入り込んだとき
 - 近くの照明がON/OFFしたとき
（車本体の動きや、車のヘッドライトまたは照明のON/OFFによる明るさの変化を検知して、動きの検知が反応します）
 - 検知範囲に、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき
 - 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき
 - 雨や雪が降っているとき
- ➔ [検知エリア設定] で、検知エリアのサイズや位置を変更するなどの処置をしてください。(P.31)
- ➔ 上記の設定をしても頻繁に検知が発生する場合は、[検知感度設定] の設定を、より低い感度に変更してください。(P.29の⑬)

動きの検知が反応しない

- 次の場合は、動きの検知が働かないことがあります。
 - 被写体の動きが小さいとき
 - 背景色と被写体の色が似ているときなど
- ➔ [検知感度設定] が低い設定になっている場合は、より高い感度に変更してください。(P.29の⑬)
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。

人がいるのに人の検知として反応しない

- 人の検知の場合は、検知エリア（初期値：撮影範囲全体）に人が映ったときに反応します。
次の場合は、姿や大きさで人として検知できず人の検知が働かない場合があります。
 - 背景色と服の色が似ているとき、体の一部しか映っていないときなど
 - 自転車やバイクに乗っている人など
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。
- [人の検知] がOFFになっていませんか？
➔ 人の検知をするには、[人の検知] をONにしてください。(P.28の②)

人がいないのに反応する

- 撮影条件によっては人以外も、人として検知する場合があります。
 - ➔ 頻繁に検知が発生する場合は、[検知感度設定] の設定を、低い感度に変更してください。(P.29の⑬)

人の検知が頻繁に反応する(人が通るたびに反応する)

- 検知範囲の中に、人通りの多い道などがあると頻繁に反応することがあります。
 - ➔ [検知エリア設定] で、検知エリアのサイズや位置を変更するなどの処置をしてください。(P.31)

通知(動きの検知または人の検知)が来ない

- カメラの検知設定がOFFになっている可能性があります。
 - ➔ 以下の操作を行ってください。
 - [検知] をONにする (P.17の④)
 - 通知を受けたい項目(人の検知および動きの検知)をONにする (P.28の②および③)
- 検知スケジュールが検知しない時間帯の設定になっていませんか？
 - ➔ 検知スケジュールの時間帯を確認してください。(P.30)
- スマートフォン本体の「設定」で、「みまもりカメラ」アプリの通知が許可されていない可能性があります。
 - ➔ スマートフォン本体の「設定」を確認して、通知を許可してください。

通知が頻繁に届く

- 「動きの検知」をONにしていますか？
 - 動きの検知は、あらゆる動きや明るさの変化などが検知の対象となるため、通知が多くなります。また、夜間は雨や雪なども検知するため、通知が連続して届くことがあります。
 - [動きの検知] と [人の検知] の両方がONの場合、人の動きを検知したときに「動きの検知」と「人の検知」の2つの通知が届きます。
 - ➔ 通知が多くて気になる場合は、「動きの検知」の通知をOFFにしてください。(P.28の③)

映像について

カメラとの通信ができない

- 映像が表示されない、乱れる、映像の更新速度が遅い
(通信ができなくても録画や検知音の鳴動など、カメラ単体での動作はできます)

※ 中継器を使用時はカメラの取扱説明書の「困ったとき」の「中継器について」をお読みください。

- 次の場合は、カメラとの通信ができない場合があります。
 - カメラがルーターから離れすぎている、またはカメラとの間にコンクリート壁、浴室、金属製品などの障害物があると、電波が弱くなり正しく通信できません。
 - ルーターとカメラ間が圏外になっている場合があります。
→ カメラとルーターの距離を近づけてください。
(カメラの電波状態の確認方法は、カメラの取扱説明書をお読みください)
ルーターを移動できないときは、中継器(別売品)の設置をお勧めします。(登録は、中継器の取扱説明書をお読みください)
- 無線が混信しているなど無線環境が悪い場合、映像が乱れることがあります。(故障ではありません)
- カメラとルーターの両方の電源を入れ直すと改善できることがあります。

人物がまったく、またはほとんど録画されていない

- 次のような場合、うまく録画されていないことがあります。
 - 検知エリアの境界付近にいる人の動き
 - カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人の動き

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- カメラレンズが汚れている可能性があります。
→ カメラレンズを柔らかい乾いた布で拭いてください。
(強く押して拭くと、すり傷による画質低下や、防水機能が失われてカメラが故障する原因になります)

映像が適切な明るさにならない

- カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。
→ 数秒お待ちください。自動で補正されます。

画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが識別しにくい

- 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが識別しにくくなります。(故障ではありません)
→ 補助灯などの設置をお勧めします。

被写体がぶれる

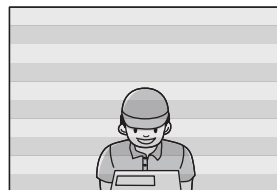
- 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。(撮像素子の特性で、故障ではありません)
- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。
→ 補助灯などの設置をお勧めします。

映像に白点または色のついた光の点が表示される

- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。(撮像素子の特性で、故障ではありません)
→ 補助灯などの設置をお勧めします。

色ムラ(ちらつき)が発生する

- 蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。(フリッカー現象)(故障ではありません)



人や車などが動いた際に、画面の一部が粗くなることがある

- 設置環境によっては、人や車など動いている周りの一部が粗くなる場合があります。(故障ではありません)

microSD カードについて

microSD カードに録画できない

- カメラ以外でフォーマットしたmicroSDカードを使用すると、正しい動作にならない可能性があります。
→ カメラでフォーマットしてご使用ください。(P.24の⑦)

録画時間が短くなった

- microSDカードを長く使い続けると、データ記録速度の低下や、記録時間が短くなる場合があります。
 - 新しいmicroSDカードへの取り替えをお勧めします。
 - 上記の対応ができない場合は、下記の操作をしたあとにmicroSDカードをフォーマットしてください。(P.24の⑦)
 - 必要な録画データをスマートフォンに保存する (P.21の⑫)
(最大記録容量は、カメラの取扱説明書の「microSDカードについて」をお読みください)
 - パソコンなどに必要な録画データを保存する (P.5)

赤外線LEDの自動点灯

赤外線LEDライトが点灯しにくくなった

- カメラの周囲に外灯や自動販売機が設置されるなど、環境が変化していませんか？
→ 周囲が明るくなると赤外線LEDライトが点灯しにくくなります。

カメラの追加(登録)について

カメラの取扱説明書(表紙)の「スマートフォン登録用のQRコード」の読み取りで、追加に失敗する

- 別のアカウントに登録済みのカメラは登録できません。
(1台のカメラを複数のアカウントに登録することはできません)
 - ➔ 複数のスマートフォンでカメラをモニターするには、カメラを追加したスマートフォン(管理者)でカメラの共有設定を行ってください。(P.11)
 - ➔ カメラの管理者の登録先(アカウント)を変えたい場合は、登録済みのアカウントからカメラを削除し(P.22の③)、登録したいアカウントでQRコードの読み取りをしてください。

カメラを追加できない

- スマートフォンへの追加可能な台数が上限になっています。
スマートフォンに追加できるカメラの最大数は8台です。(一世帯あたりの推奨カメラ台数は4台)
 - ➔ 新しいカメラを追加するには、既に追加されているカメラを削除する必要があります。(P.22の③)
 - ➔ 共有されているカメラの場合は、カメラの共有を解除する必要があります。(P.12)

カメラを共有できない

- 共有先のスマートフォンの追加可能な台数が上限になっています。
スマートフォンに追加できるカメラの最大数は8台です。(一世帯あたりの推奨カメラ台数は4台)
 - ➔ 共有先のスマートフォン側にカメラの削除(P.22の③)もしくはカメラの共有を解除(P.12)するようにお伝えください。

スマートフォンでカメラ映像が表示されない

- 複数のスマートフォンでカメラの共有をしている場合
 - 管理者がカメラを減設していないか確認してください。
 - 管理者がカメラの共有を解除していないか確認してください。
- 電波状況やネット環境により映像が表示されないことがあります。
 - ➔ スマートフォンがネットワークにつながり、正常に使用できるか確認してください。
- 同じカメラを同時にモニターできるスマートフォンは、1台までです。

スマートフォン (iPhone) でカメラに接続しているのに、アプリでカメラ表示がでない

- 宅外からのモバイル回線での接続を行うには、スマートフォン (iPhone) の設定→「みまもりカメラ」の[モバイルデータ通信]をONにしてください。

アプリの機能が動かなかったり、スクリーンショット、録画データがスマートフォンに保存できない

- アプリのすべての機能を使用するためには、下記のような個人情報の収集や権限取得の許可をする必要があります。
 - IPロケーション：スマートフォンがメッセージ通知を受け取るため
 - デバイス情報：カメラの追加やソフトウェアの更新を行うため
 - メールアドレス：アカウント登録のため
 - 識別情報：アカウントを検証するため
 - 画像 / 音声情報：映像や写真の表示および再生をするため
 - 写真と動画情報：録画データやスクリーンショットを保存するため
 - マイク権限の取得：カメラと通話をするため
 - カメラ権限の取得：QRコードを読み取るため
 - 通知権限の取得：スマートフォンが通知を受け取るため

その他

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- アプリを再起動してください。
- カメラを再起動してください。(P.26の⑪)
- カメラとルーターの両方の電源を入れ直すと改善できることがあります。
- 設置場所の移動や停電により、ルーターや中継器の電源が切れると、中継器経由の接続ができなくなる場合があります。
 - ➔ 接続ができないときは、電源を入れ直してください。

こんなときには

〈カメラを譲渡・廃棄・返却するとき〉

- 管理者のスマートフォンのアプリでカメラの登録を削除 (P.22の③) もしくはアカウントの削除 (P.15の⑥) をしてください。
- microSDカードの取り扱い(取り出し、フォーマット)についてはカメラの取扱説明書の「個人情報について(修理・譲渡・廃棄など)」と「microSDカードを譲渡・廃棄するとき」をお読みください。

〈買い替えなどでルーターを変更する場合〉

ルーターに無線接続用のボタン(WPS、らくらく無線スタートなど)があるかをご確認ください。ボタンの有無で、操作方法が異なります。

- 管理者のスマートフォンで操作してください。

■ 無線接続用のボタンが「ある」ルーターに変更するとき(中継器使用時も含む)

- ➔ ルーターを変更後、カメラの登録を最初からやり直してください。
(カメラの取扱説明書の「カメラを接続する」と本書のP.10の「アプリにカメラを追加(登録)する」をお読みください)

■ 無線接続用のボタンが「ない」ルーターに変更するとき(中継器使用時も含む)

変更前にアプリで、[カメラの初期化]の[ネットワーク設定の初期化]をしてください。(P.26の⑩)

変更前にアプリで初期化できなかったときは、カメラ本体の初期化ボタンを押してください。(お買い上げの状態に戻ります)

- ➔ ルーターを変更後、カメラの登録を最初からやり直してください。
(カメラの取扱説明書の「カメラを接続する」と本書のP.10の「アプリにカメラを追加(登録)する」をお読みください)

〈ルーターの暗号化方式の設定を変更したとき〉

カメラ本体の初期化ボタンを押す、または中継器を使用時は、中継器の初期化ボタンを押してください。(お買い上げの状態に戻ります)

- ➔ カメラの登録を最初からやり直してください。
(カメラの取扱説明書の「カメラを接続する」と本書のP.10の「アプリにカメラを追加(登録)する」をお読みください)

商標・著作権・ライセンス

商標について

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- IOSは米国その他の国や地域におけるCiscoの商標または登録商標であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- iPhone は、Apple Inc.の商標です。
- Android はGoogle LLC の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

- この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページに掲載しています。GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、LIXIL株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPLおよびその他のオープンソースソフトウェアの利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPLソフトウェアおよびその他のオープンソースソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。
https://s.lixil.com/camera_OSSlicense
- 検知音（検知音1～3）または警告音（警告音1～3）選択時にスマートフォンから鳴る音色は、©2025 Yoshida Toruの許可を得てデータを使用しています。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ
(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

取説コード

EXM-273

JZZ642503
202604_1009